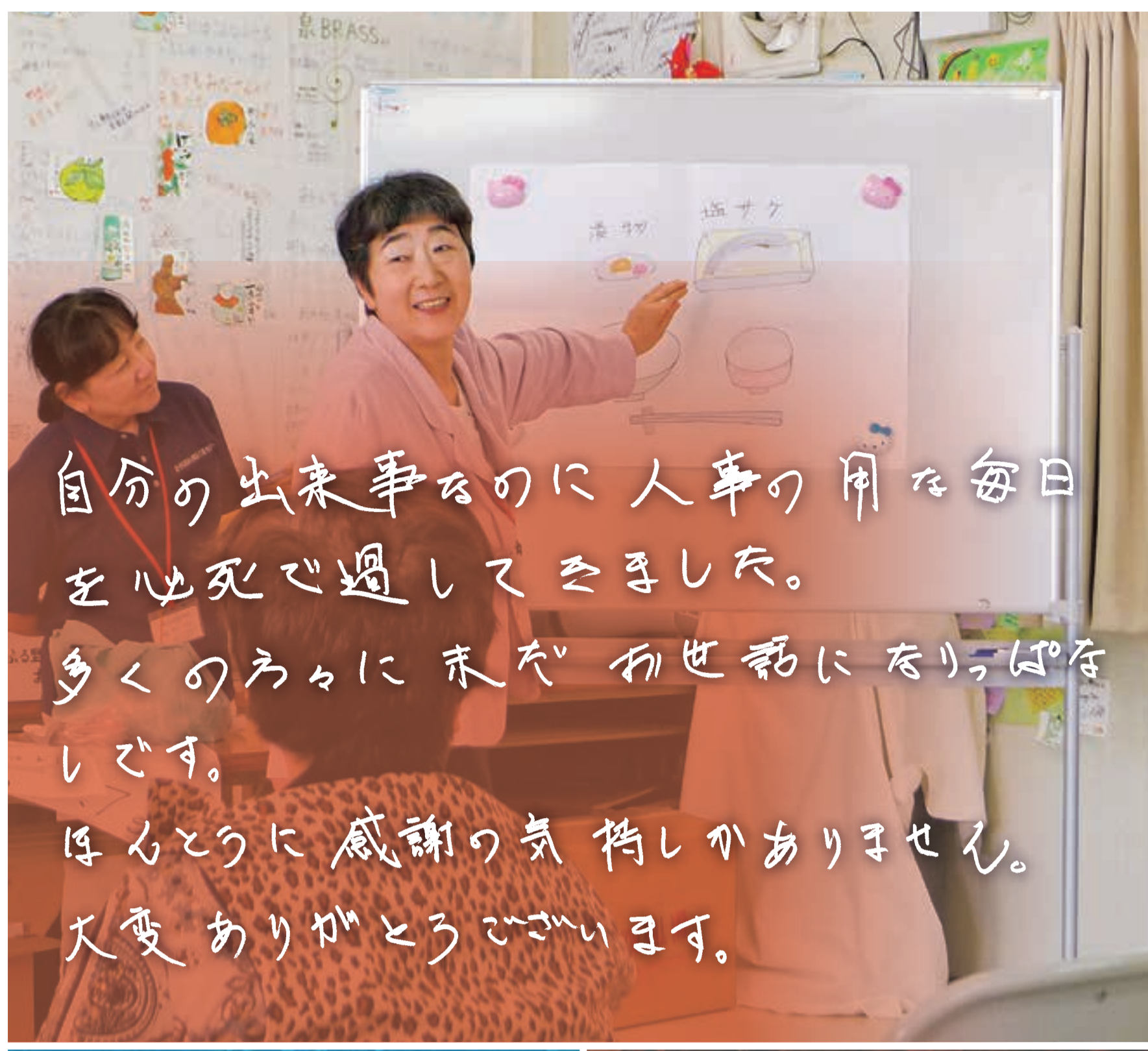
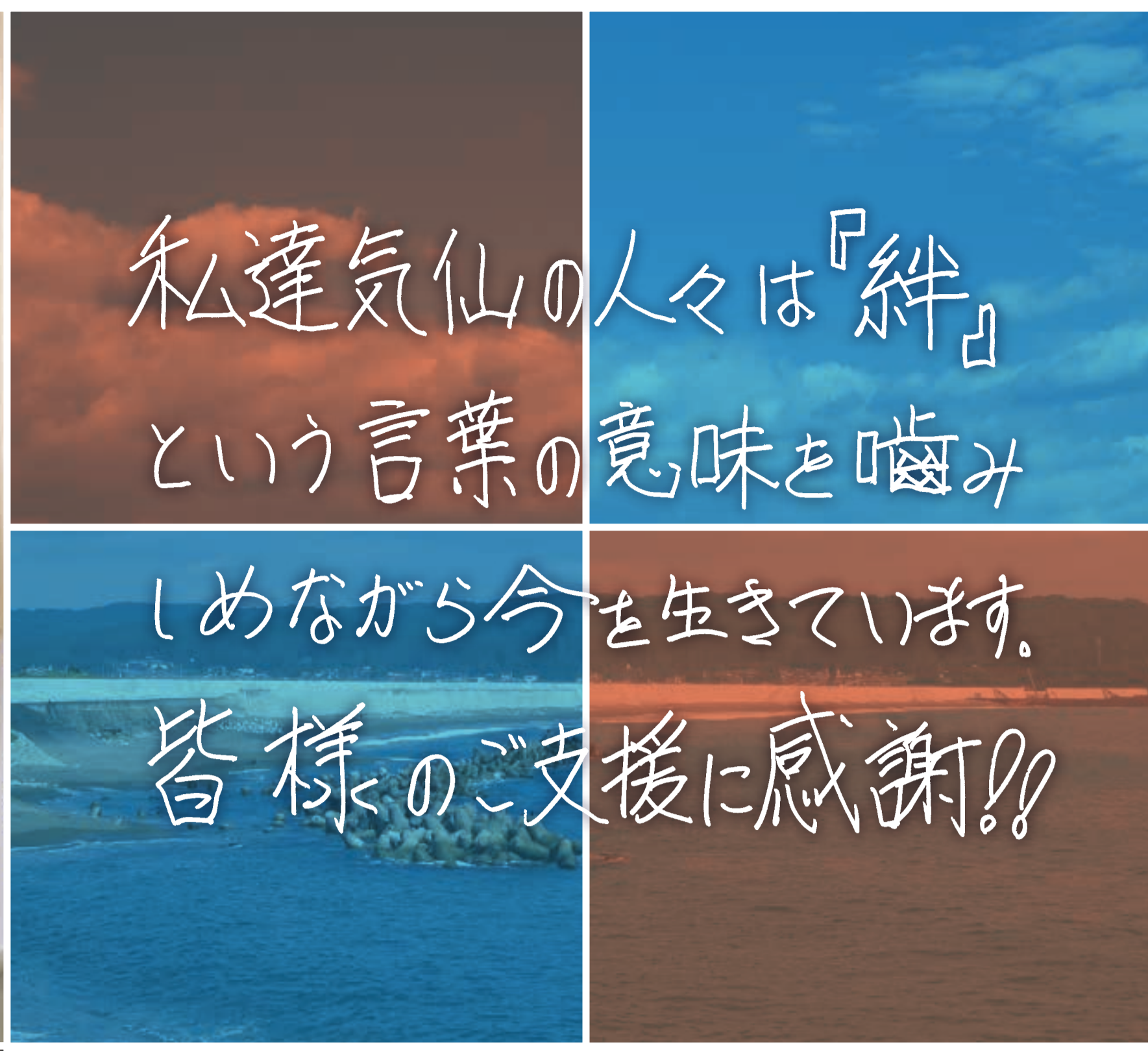




東日本大震災津波からの復興



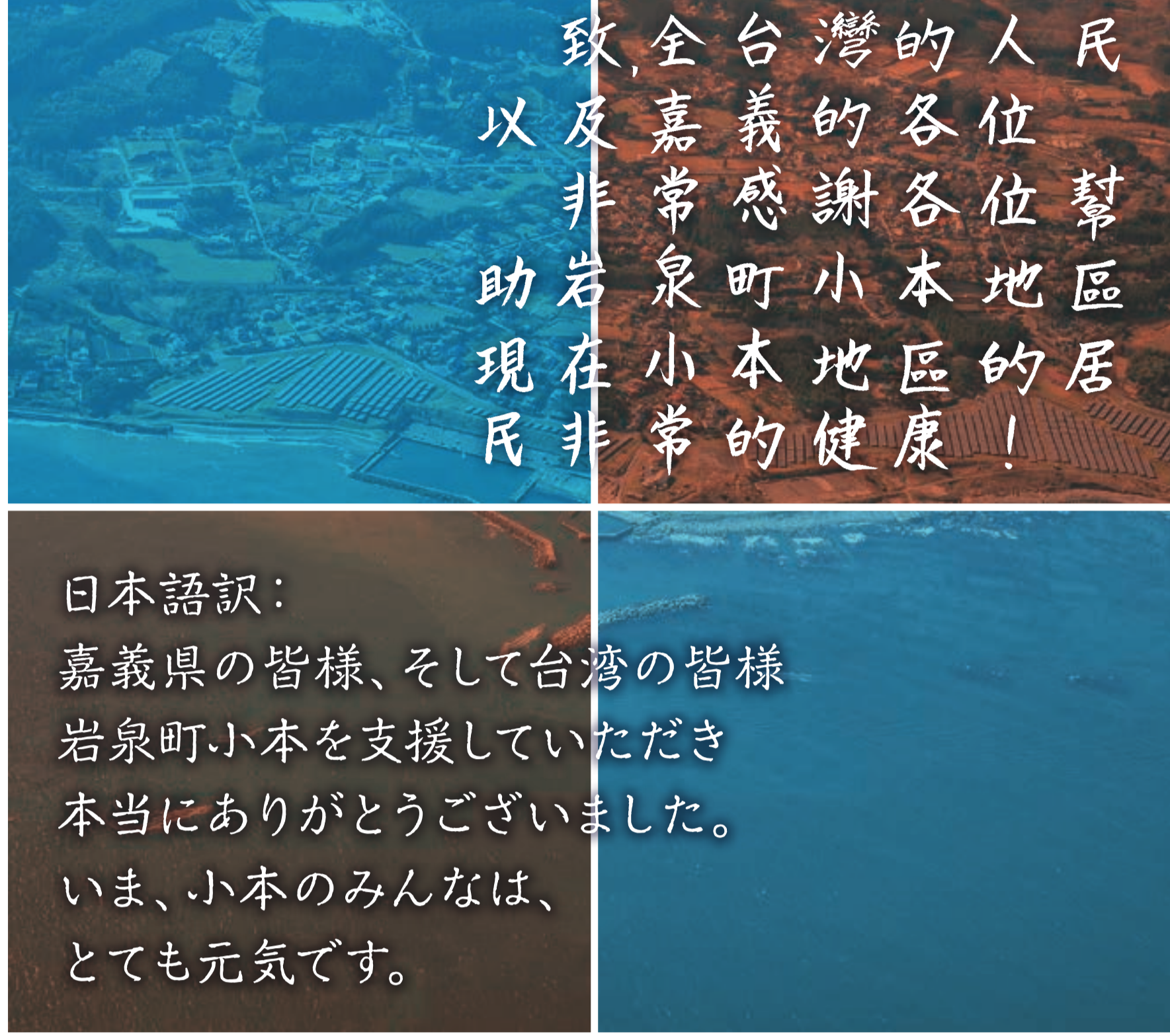
自分の出来事なのに人々の用を毎日
を必死で過してきました。
多くのみんなに未来を希望に寄り添って
します。
ほんとうに感謝の気持ちがありません。
大変ありがとうございます。



私達気仙の人々は『絆』
という言葉の意味を噛み
しめながら今も生きています。
皆様のご支援に感謝!!



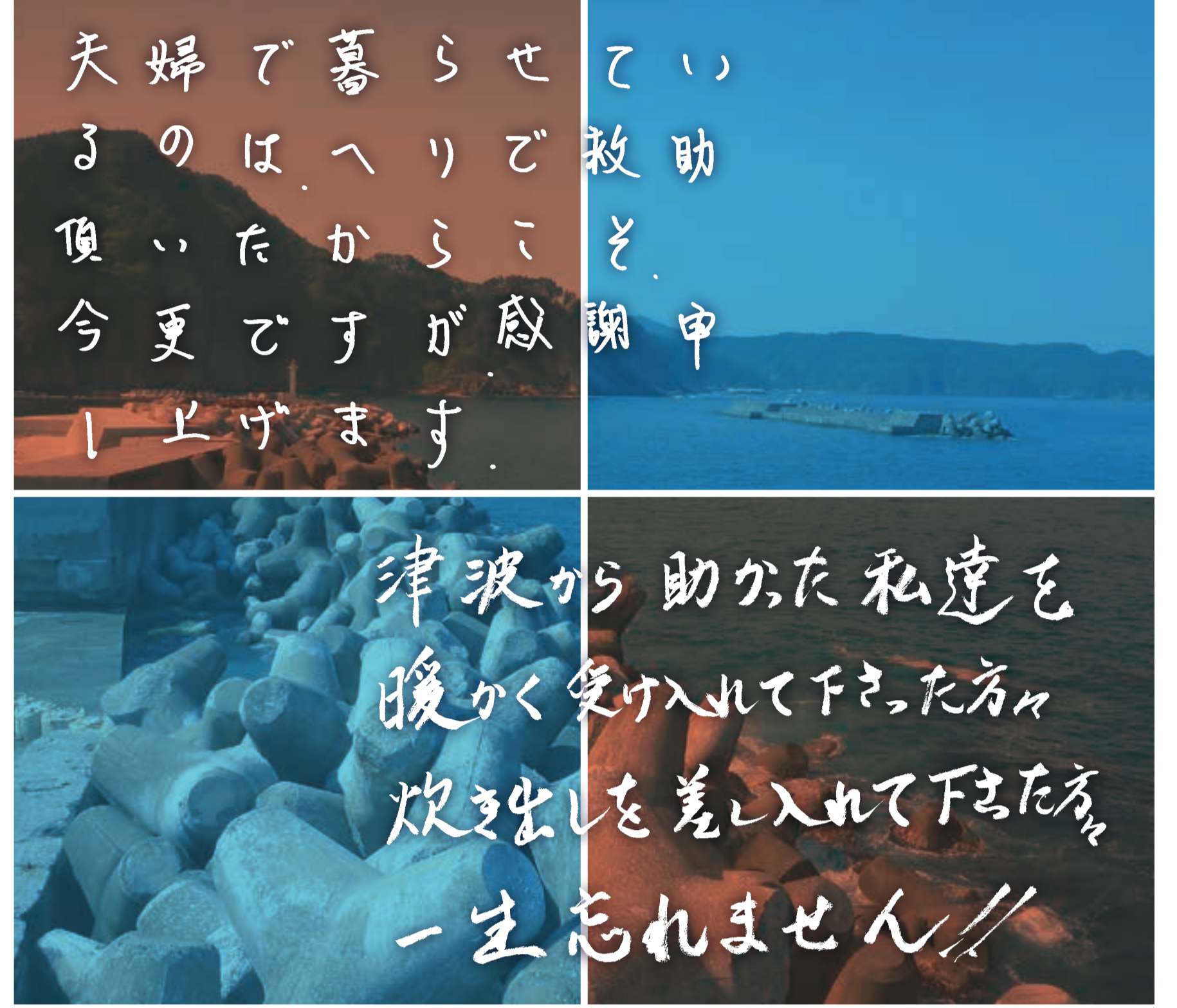
全国からの支援による緑や
花々が復興のきっかけになり
ました。色のない世界から脱し
前を向く事ができました。



致、全台湾的人民
以及嘉義的各位
非常感謝各位
助若泉町小本地區
現在小本地區的居
民非常的健康!

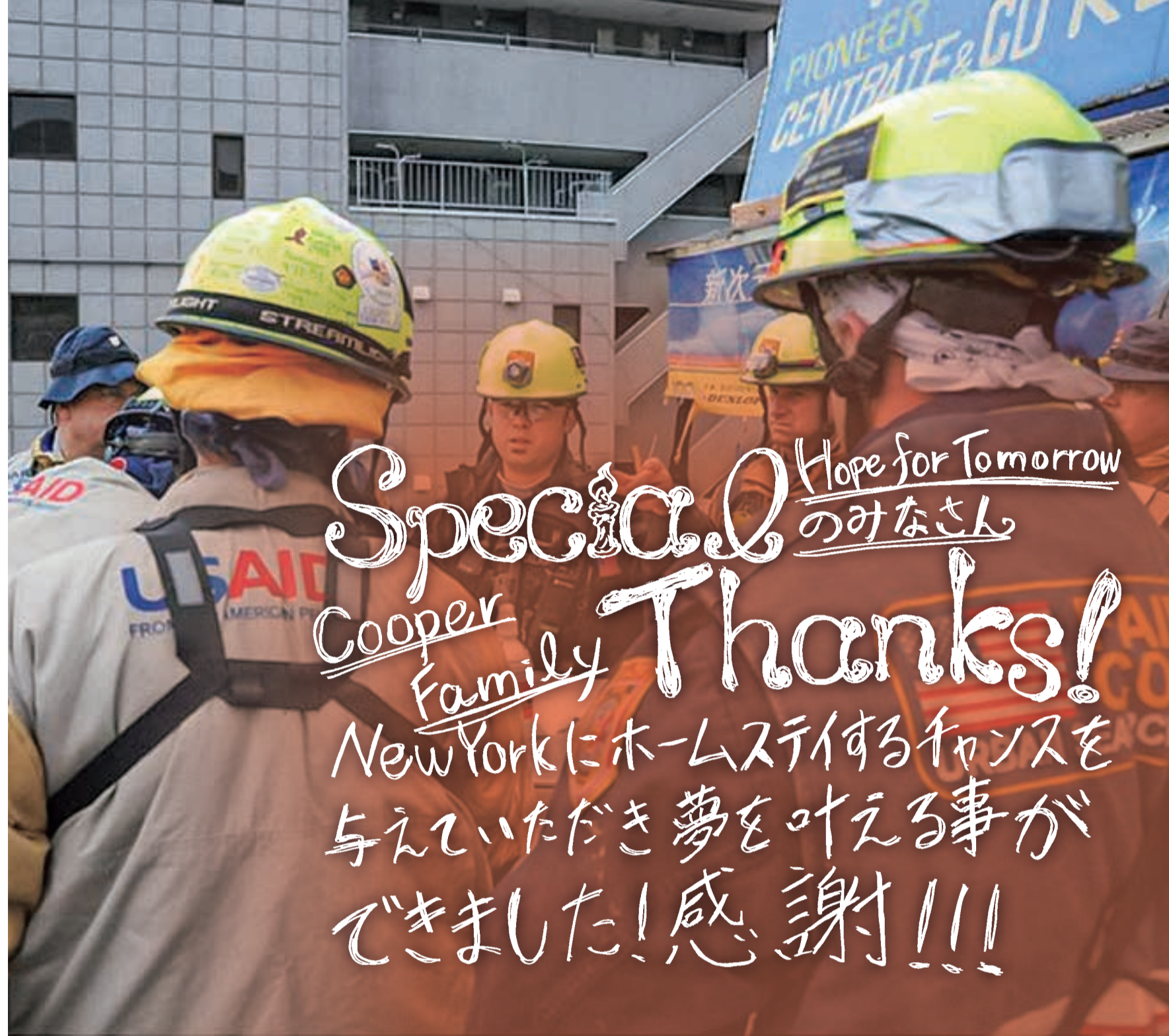
日本語訳:
嘉義県の皆様、そして台湾の皆様
若泉町小本を支援していただき
本当にありがとうございました。
いま、小本のみんなは、
とても元気です。

復興支援 ありがとうございます

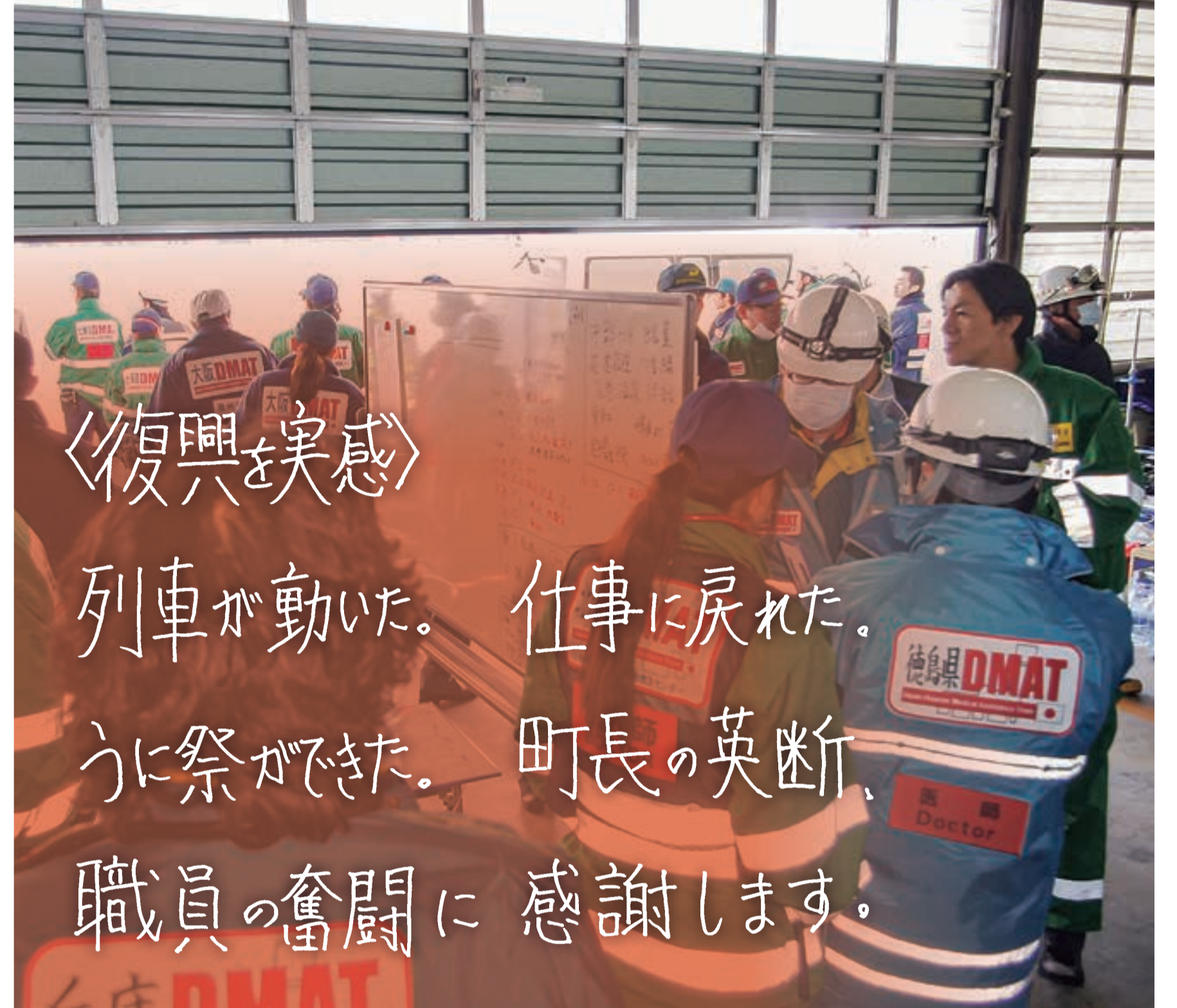


夫婦で暮らせてい
るのほへりご救助
頂いたからこそ
今更ですが感謝申
上げます

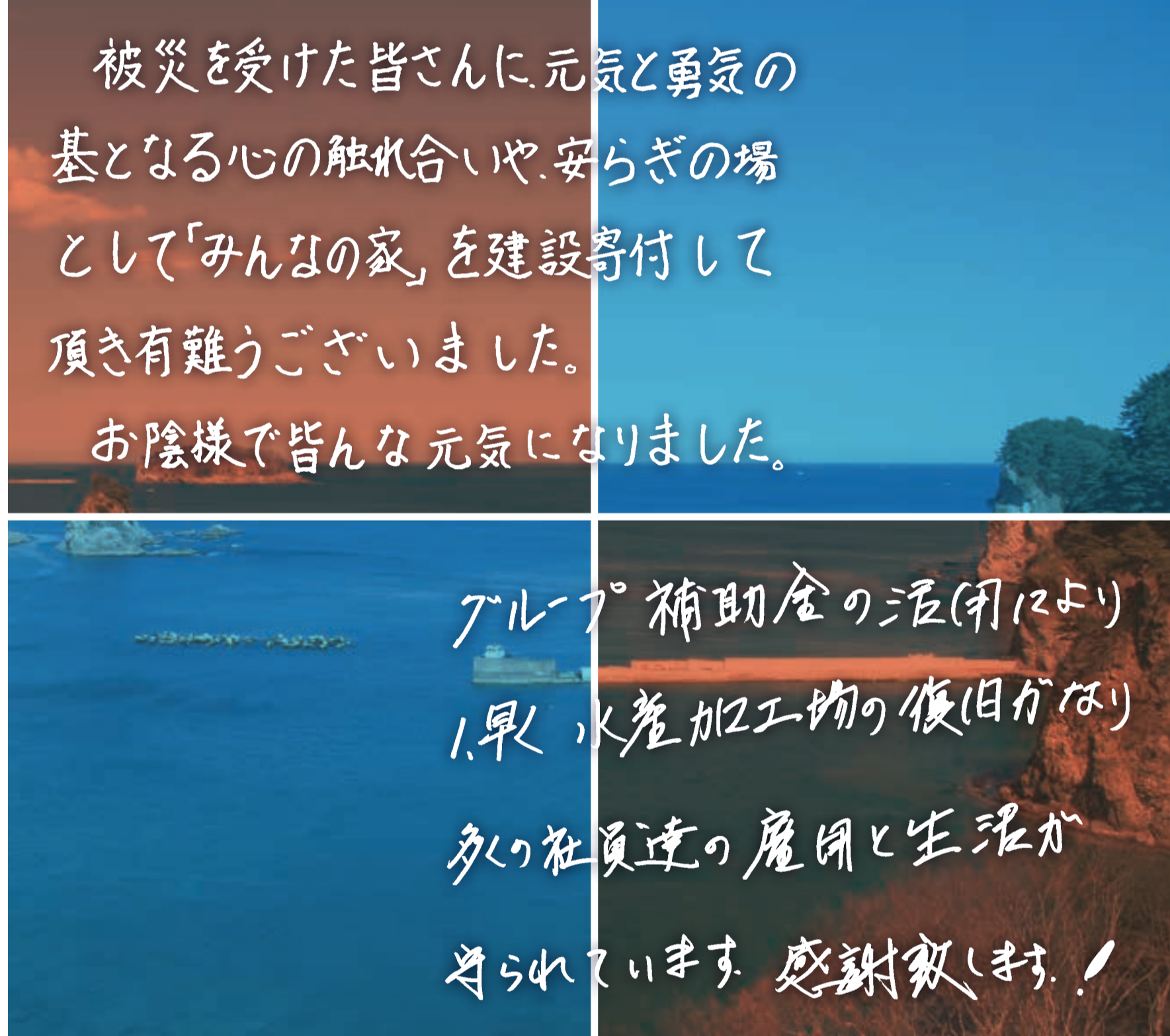
津波から助けた私達を
暖かく受け入れて下さった方々
炊き出しを差し入れて下さった方々
一生忘れません!!



Special Thanks!
Cooper Family
New Yorkにホームステイするチャンスと
与えていただき夢を叶える事が
できました!感謝!!!

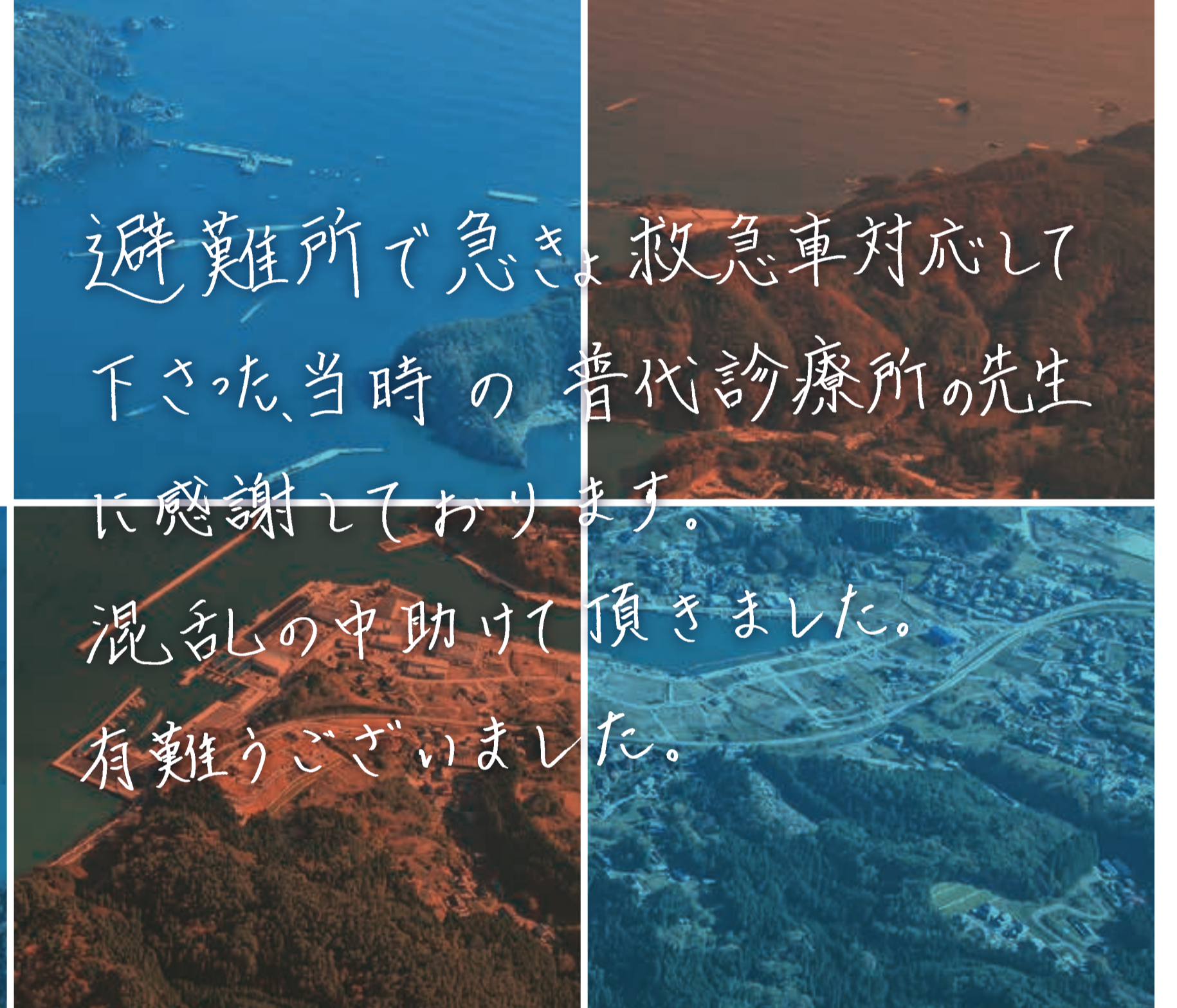


〈復興実感〉
列車が動いた。仕事に戻れた。
うに祭りができた。町長の英断、
職員の奮闘に感謝します。

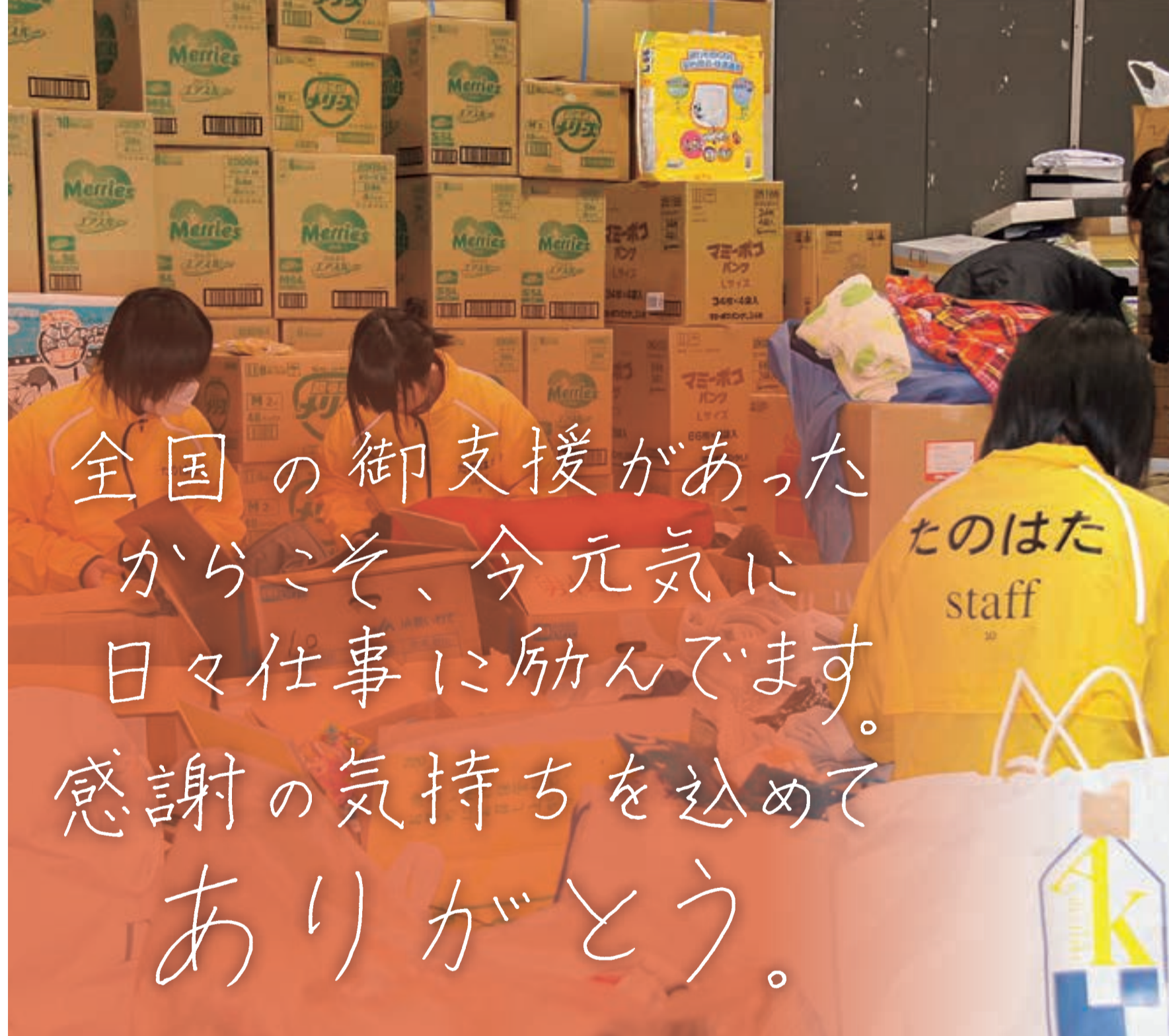


被災を受けた皆さんに元気と勇気の
基となる心の触れ合いや安らぎの場
として「みんなの家」を建設費付して
頂き有難うございました。
お陰様で皆んな元気になりました。

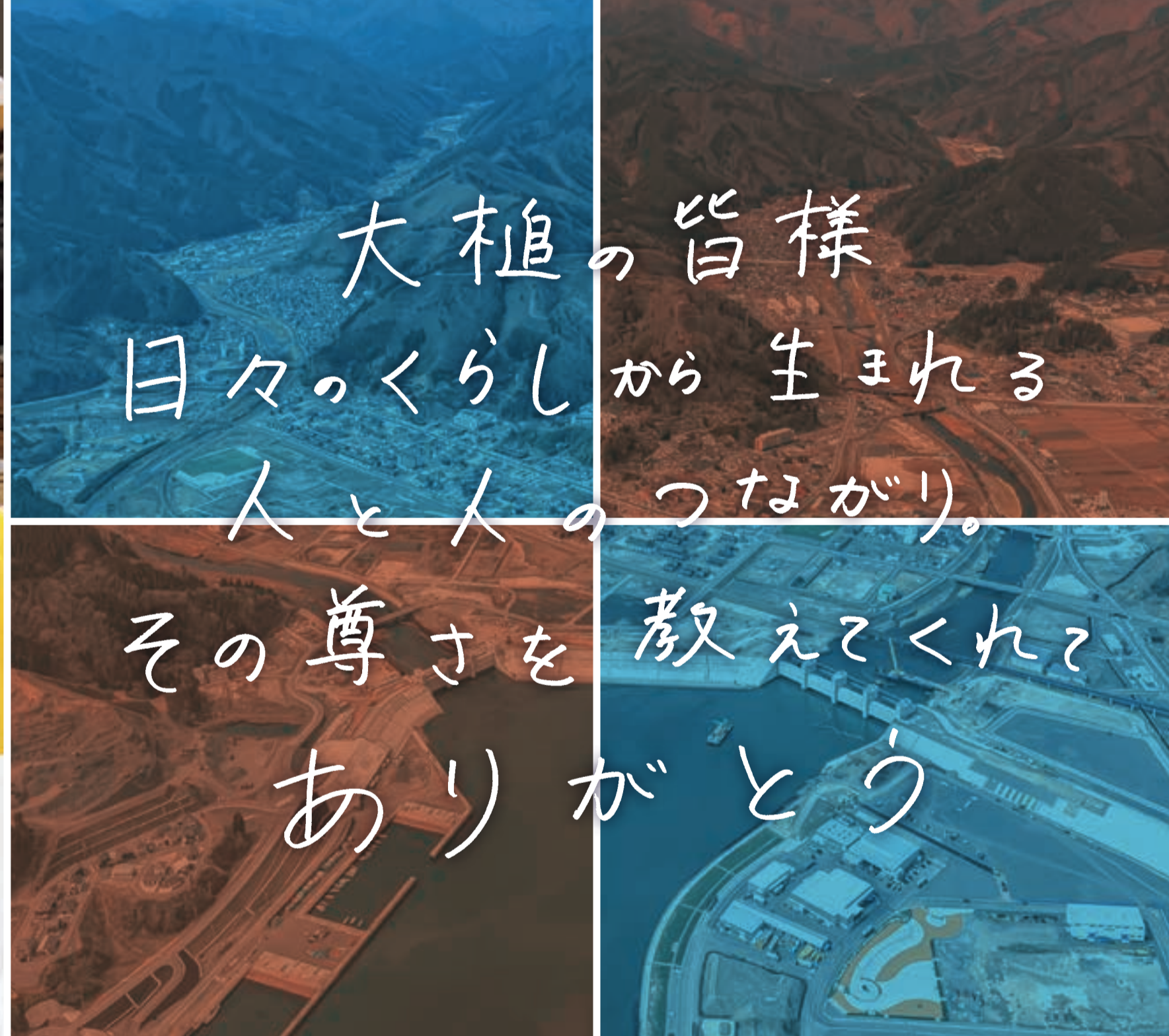
グループ補助金の活用により
1.早急な復旧工事の復旧が
たのび復旧の雇用と生活が
まわっています。感謝致します!



避難所で急きょ救急車対応して
下さった当時の普代診療所の先生
に感謝しております。
混乱の中助けて頂きました。
有難うございました。



全国の御支援があった
からこそ、今元気に
日々仕事に励んでいます。
感謝の気持ちを込めて
ありがとうございます。



大植の皆様
日々くらしから生まれる
人とのつながり。
その尊さを教えてくれて
ありがとうございます



被災直後から沢山のメッ
セージが届き心の支え
になった。励ましのメッセ
ージありがとう!

(メッセージは、沿岸地域にお住まいの方々からいただいたものであり、背景の写真は復旧・復興の様子を表すイメージです。)

これまでいただいた支援の状況

東日本大震災津波発災以降、国内外の皆様から多大なご支援や励ましをいただき、心より厚く御礼を申し上げます。
復興が着実に進むよう、全力で取り組んで参りますので、引き続きご支援をお願いいたします。

ふるさと岩手応援寄付(ふるさと納税) 13億円 (令和2年7月末現在)

三陸沿岸振興、ラグビーワールドカップ2019™を契機
とした観光客の受入れ基盤等の整備や国際リニアコ
ライダーの実現など、岩手県の施策を推進するために活用
させていただいております。

問合せ先: ふるさと振興部地域振興室 ☎019-629-5184

寄附金 197億円 (令和2年7月末現在)

被災者の生活支援や住宅再建支援、
雇用確保や産業の復興に活用させて
いただいております。

問合せ先: 保健福祉部保健福祉企画室
☎019-629-5408

義援金 543億円 (令和2年7月末現在)

被災された方々の生活再建の
ために活用させていただいて
おります。

問合せ先: 復興局生活再建課
☎019-629-6926

いわての学び希望基金 102億円 (令和2年7月末現在)

教育の充実のための奨学金、教科書や制服の購入費、修学旅行や部活動へ
の参加経費など、被災地の子どもたちの「くらし」と「まなび」のために活用させ
ていただいております。

※ いわての学び希望基金には、ふるさと納税からも一部が寄附されています。

問合せ先: 復興局復興推進課 ☎019-629-6922

活動ボランティア受入人数 延べ568,884人 (令和2年7月末現在)

支援と交流を通じ、多くのつながりや絆が生まれました。今後とも、被災者と被災地に寄り添うご支援をお
願いたします。

問合せ先: 岩手県社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター ☎019-637-4483



〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10番1号 TEL:019-629-6945
掲載している写真・図表の転載・複製は固く禁じます



東日本大震災津波からの復興

復興支援ありがとう

『あの日を忘れない…』

そして、

一歩ずつ前へ。』

『街中いろんな施設ができてきたってのもあり、数年前に比べてだいぶ明るくなりました。この明るさも復興の証だと思えます。ここから見るリアス式海岸が好きです。』

『7月11日
あれから9年4ヶ月
各地で
自然災害が起きてます。
あたりまえのように
今の日常がある。
感謝。
そして忘れない事。』

『もう少しで震災から10年。
毎年少しずつ変わっていく
様子を感じていました。
何気ない日常を
送れることに感謝です。
これからもあの日を忘れず
過ごしていきたいです。』

『ここへ来ると
不思議な気持ちに
なってしまう。
確実に一歩一歩
前へ進んでいる。
あの日を決して
忘れてはならない。』

『震災前も今も、
美味しいお料理を
提供していただき
ありがとうございます！』

『この場所と一緒に学んだ
あの時間は忘れません
手を引いて
共に津波から逃げた
あの経験があるから
明日もなんとか
頑張ろうと思えるのです
ありがとう』

(#iiwate 見つけて教えてキャンペーン2020に寄せられたメッセージの一部を紹介します。)



(震災直後 宮古市)

2011年3月11日

これまで当たり前だった景色が一変した



(震災直後 陸前高田市)



(震災直後 久慈市)

安全の確保



復興道路開通



防潮堤整備

なりわいの再生



漁村地域再生



大型商業施設開業

暮らしの再建



災害公営住宅



鶴住居復興スタジアム

伝承発信



三陸鉄道震災学習列車



高田松原津波復興祈念公園

■名称〈発生日時〉

東日本大震災津波

〈平成23年3月11日(金)14時46分頃〉

※ 地震による震災の名称について、政府は「東日本大震災」としていますが、岩手県では「東日本大震災津波」と表記することとしています。

■震央地

三陸沖・牡鹿半島の東南東約130km付近
(北緯38°06.2'／東経142°51.6')

■震源の深さ・規模

24km・マグニチュード9.0

■本県の最大震度

震度6弱：大船渡市、釜石市、滝沢村、矢巾町、
花巻市、一関市、奥州市、藤沢町

■津波の最大波

[宮古] 11日15時26分 8.5m以上
[釜石] 11日15時21分 4.2m以上
[大船渡] 11日15時18分 8.0m以上
[久慈港] 8.6m (推計値)

■人的被害(令和2年7月末現在)

死者(直接死)：4,674人 行方不明者：1,112人
死者(関連死)：469人

■住家被害

(全壊及び半壊) 26,079棟

三陸復興

岩手県

〒020-8570

岩手県盛岡市内丸10番1号 TEL:019-629-6945

掲載している写真・図表の転載・複製は固く禁じます



東日本大震災津波からの復興

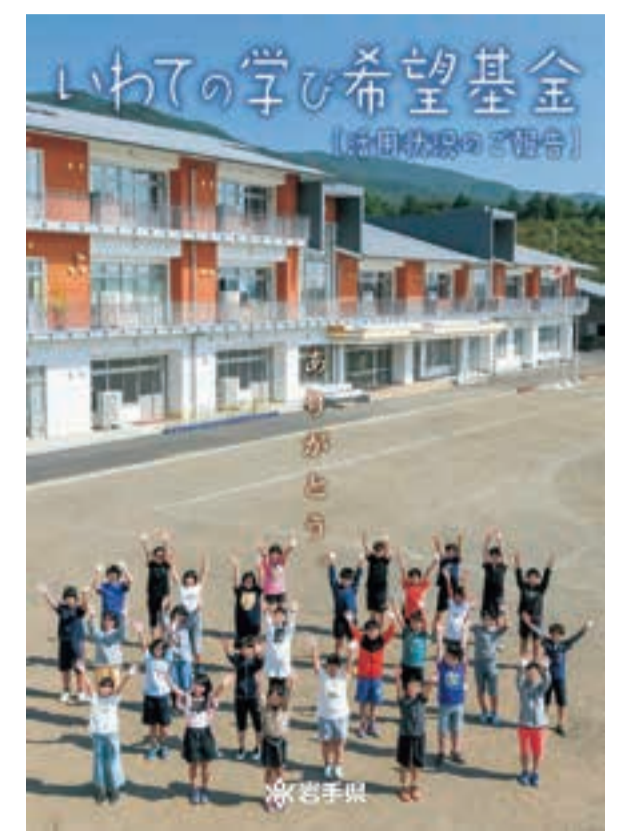
復興支援ありがとう

いわての学び希望基金

いわての学び希望基金についてはこちら



「いわての学び希望基金」は、東日本大震災津波で親を失った子どもたちなどの「くらし」と「まなび」を支援するため、平成23年6月に設けられました。大震災津波から10年目を迎えた今でも国内外から多くのご寄附をいただき、令和2年1月には、寄附金総額が100億円を超えました。県では、小冊子「いわての学び希望基金活用状況のご報告」を発行し、寄附者への感謝の気持ちを伝えるとともに、被災地の子どもたちの状況を発信し、大震災津波の風化防止や更なる支援を呼びかけています。



奨学金等を受けた子どもたちからのメッセージの一部を紹介します

■大学卒業生(H23年度)

当時大学3年生で、2人の弟は生き残り、両親が亡くなりました。「弟たちをどうやって生きていこう」と大きな不安がありました。大震災津波をきっかけに「やっつけいこう」という希望に変わりました。本当にありがとうございました。

■専門学校卒業生(H29年度)

当時学生だった私は、まともに学校に通えないんじゃないかと毎日、避難所の体育館で考えていました。しかし、今、こうして社会人となり生活出来ているのは奨学金を寄附してくださった皆様のおかげです。お世話になった方々に恩返しができるよう頑張ります。

■4年制大学農学部卒業生(H27年度)

あの日、突然多くのものを失いました。当時、これ以上周囲の負担になるまいと両親と約束していた進学を諦めていました。そんな私が進学を決意したのは、皆様の温かい支援があったからです。「顔を知らずとも応援してください。心より感謝申し上げます。」

■高等学校2年ソフトテニス部(H26年度当時)

皆様からのご支援のおかげで大会に全力で臨むことができました。このことを忘れずに練習に励み、皆さんに恩返しとして良い結果を残したいです。また、これからの大船渡を元気づけるためにも頑張ります。温かいご支援ありがとうございました。

■4年制大学看護学部卒業生(H26年度)

震災で母を亡くし、いつ自分が死ぬのかと考えると言葉で表せないくらい恐ろしかったです。しかし、いわての学び希望基金やたくさんの方々のおかげで勉強に集中でき、小学生からの夢である看護師になりました。ご支援いただいた寄附者の皆様に心から感謝申し上げます。

■4年制大学政策系学科卒業生(H28年度)

大学卒業までの6年間、いわての学び希望基金奨学金を受給させていただきました。大学では地元自治体の復興について卒業論文を作成しました。現在は、憧れていた鉄道の仕事に就きました。今後は地元の発展に貢献したいです。今までご支援してくださり、本当にありがとうございました。

■高等学校3年(H28年度当時)

私は、調理師の資格を取るために勉強を頑張っています。将来は、今まで頂いた御恩に応えるためにも、多くの人に支えられていることを忘れず、人の役に立つ思いやりのある調理師になりたいです。寄附者の皆様、本当にありがとうございました。

■高等学校3年(H30年度当時)

被災して父を亡くし、失くしたものの多さにとっても不安になりました。今、高校に通えているのは多くの人の支えがあったからです。私はこの経験をして、医療に興味を持ち、看護師という夢ができました。「感謝」を忘れず、頑張ることを忘れず、いつか恩返しをしたいです。

■高等学校3年(H29年度当時)

皆様から寄附して下さるのおかげで、大学で歴史遺産の勉強ができます。母を失った時、大学には行けないと諦めていましたが、顔も声も分からない皆様の優しさ、人情により大学へ行けます。どんな形でも皆様へ恩返しができるよう頑張ります。皆様これからも健康で平和に暮らせることを祈ります。

■高等学校3年(H27年度当時)

奨学金を頂いて3年目になります。母の仕事場が全壊し、1年間仕事がない中で高校進学を決めなければなりません。その際、奨学金を頂き、志望していた私立高校に入学できました。この奨学金に寄附して頂いた方に感謝の気持ちでいっぱいです。

■専門学校卒業生(H30年度) ゲーム制作会社勤務

皆様から頂いた温かいお言葉や寄附のおかげで、夢であったゲーム制作会社に就職が決まりました。将来は、ゲームを通じて笑顔と楽しさを世界中の方々に伝えたいです。感謝の気持ちを忘れず、これからも日々努力していきます。本当にありがとうございました。

■高等学校3年(R1年度当時)

小4の時に父と祖父母を亡くし、とても悲しかったのですが、父と祖父母に勉強を頑張らなさいと言われたことを思い出、勉強と部活動を両立できました。特に部活動では、全国大会で入賞でき、現在も大会に向け練習中です。私が頑張りたいことに向き合えるのも寄附者の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

いわて TSUNAMI メモリアル

東日本大震災津波伝承館

Iwate Tsunami Memorial Museum

東日本大震災津波伝承館 公式HPはこちら



平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波により、私たちは多くの尊い命を失いました。この悲しみを繰り返さないためには、知恵と技術で備え、自ら行動することにより、様々な自然災害から命を守り、そして、自然災害を乗り越えていくことが重要です。東日本大震災津波伝承館は、先人の英知に学び、東日本大震災津波の事実と教訓を世界中の人々と共有し、自然災害に強い社会を一緒に実現することを目指します。そして、東日本大震災津波を乗り越えて進む姿を、支援への感謝とともに発信していきます。



伝承館のデジタルメッセージボードに寄せられた内容の一部を紹介します

ご支援 ありがとうございます。復興はまだまだですが、頑張ります。 S.H.R.M

生きてる今の自分に つけがらに感謝！

生きてくれて ありがとうございます 毎日 思っ 朝です

被害者から。 皆 忘 小 作 下。

自衛隊の皆さんに 感謝しありがとうございます

人と人はつながっている 生きることの大切さを教え くれてありがとう

実際に被災した者です。あの時に全国からの支援は 本当にありがたかったです。

多くの人に生きてほしい。 たくさんの人に感謝です。

あたりまえなど無い 感謝を忘れない！

2011年に母を失った。 8才。 になりました。 多くの人に感謝

今日を大切に 日々を丁寧に生きていく 皆の笑顔が嬉しい

全力で助けてくれた方 みんなに感謝です

ご支援 ありがとうございます。 天啓に救われました

いつも戻って来られる家へ 必ず 感謝 致します。

生きてくれて ありがとうございます。 兄を助けてくれてありがとう

世界の皆様のからの 支援で助けられました。 感謝！ Thank you!

いつまでも忘れません 助けてくれたこと。 被災したこと。

おじいちゃん 守ってくれて ありがとう。 被災したこと

たくさんの人に支え られ、無事成人を迎えられ ました。 感謝 致します！！

被災者の皆様 今後の復興のために 是非 感謝の気持ちを 伝えてほしいです。 ありがとう

あの日 きっかけで DMATに 参加して 被災したこと

あの海も忘れられない。 せして 生かされたことに 支援くださった皆様の 思いも 忘れ ない。 ありがとう

いわて震災津波アーカイブ 希望

いわて震災津波アーカイブ ~希望~ はこちら



東日本大震災津波の記憶を風化させないため、平成29年3月から、「いわて震災津波アーカイブ~希望~」を開設しています。このアーカイブでは、被災地の写真や新聞記事、「津波てんでんこ」などの事例等、東日本大震災津波に関連する約24万点の資料を検索・閲覧できますので、ぜひご覧ください。

【アーカイブの6つのテーマ】

- そなえ** あの日を忘れない！ 津波が海をのみこんだ
- 結いの力** 地域の人たちの助けがあったからこそ
- 支援から絆へ** 心からの感謝！ 絆が乗り越える力に
- 配慮が必要な人へ** 手を携え、共に生きていくために
- 前例なき対応** 命を守る、あきらめない、力を尽くす
- ふるさと いわて三陸** 希望郷いわてーこの地で生きる



〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号 TEL:019-629-6945 掲載している写真・図表の転載・複製は固く禁じます



東日本大震災津波からの復興

～「いわて復興だより」号外～

いわてさんりくびと大集合!

地域の底力と様々なつながりの力



復興に向け活躍している
“さんりくびと”
が大集合しました。
皆様からの熱いメッセージを
ご覧ください!

ありがとう

復興に、まちづくりに
取り組んでくれて
ありがとう!

いわて復興だより

いわて復興だより紙面版
HPはこちら



復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介するため、平成23年7月から、復興情報発信誌「いわて復興だより」を発行しています。

「いわて復興だより」では、「被災地・三陸の復興に向け、熱い思いを持ち、活躍する方々＝いわてさんりくびと」を取り上げています。これまで111名の方々の復興への思いを発信してきました。岩手の復興のシンボルである三陸鉄道の運転士さんや、沿岸市町村の地域おこし協力隊の方など、様々な分野の皆さんが思い思いのメッセージを掲げています。

このボードには、創刊号から令和2年8月号までに登場した“いわてさんりくびと”111名が大集合しました。「いわて復興だより」は、県ホームページからご覧いただけます。

